

# 奥羽大学報



< 卒業証書・学位記授与式 答辞 >



# 129

## 目次

平成22年度 卒業証書・学位記授与式 .....	2
博士(歯学)学位記授与 .....	4
記念植樹/謝恩会/歯科医師国家試験合格者発表/ 薬剤師国家試験合格者発表/平成22年度病院・薬局実務実習 .....	5
薬学教育フォーラム2011 学生発表/人事担当者懇談会/ 平成22年度職域歯科保健トップセミナー .....	6
平成22年度大学院特別セミナー/国際学会参加報告/ 第2回教員研修講演会/高大連携講座 .....	7
小児歯科学会/附属病院 .....	8
父兄会 .....	9
退職によせて/東京支部同窓会だより .....	10
同窓生のひろば .....	11
人事 .....	12

## 学生の皆さんに

奥羽大学長 天野 義和

この度の東日本大震災において、被災された方々にお見舞い申し上げます。また、不幸にしてお亡くなりになりました方々やご親族の方々に心よりお悔やみを申し上げます。被害に遭われた地域の復旧が一日も早く進みますことをお祈りします。

奥羽大学の校舎は窓ガラスの割れた箇所、天井が壊れた箇所、壁にヒビが入った箇所がありました。震災直後から教職員が一丸となって作業にあたり、壁以外は復旧しました。建物は電気、ガス、水道も復旧し、病院棟1階の食堂も営業しています。

高速道路の東北自動車道も一般車両は通常になりました。東北新幹線は東京-福島間は4月12日に、福島-仙台間も4月中に開通するようです。山形新幹線も走っています。郡山市内の道路も正常です。ガソリンスタンドも普通に営業しています。

歯学部・薬学部の学生の皆さんの安否確認も終わり、現在は家やアパートの被害状況を確認しているところです。

福島第一原発事故による放射能漏れの状況については、県や郡山市の行政による情報を見て、医科系大学の学生として、風評に惑わされずに正しい判断をしてください。大学として、歯科放射線学講座の専門教員が大学構内の屋外・屋内の日々の放射線量を測定しています。放射線量は大学構内の屋内(コンクリート)では、屋外で測定したものに比較するとほとんど0になるようです。また、日が経つにつれ大学周辺の屋外の放射線量は減少しています。

郡山市内の小学校・中学校・高等学校は4月10日前後から新学期が始まりますが、奥羽大学は、他府県に在住している学生の皆さんがスムーズに来る事が出来るよう、インフラなどを考慮して授業開始は4月20日(木)、入学式は4月23日(日)に執り行います。

新学期には学生の皆さんが元気な姿で登校して来てください。

## 平成22年度 卒業証書・学位記授与式

平成23年3月10日(木)午後1時より、本学記念講堂において平成22年度卒業証書・学位記授与式が挙行された。卒業証書及び学位(歯学・薬学)を授与された者は、歯学部歯学科77名、薬学部薬学科3名、博士(歯学)の学位を授与された者は、大学院修了者5名及び博士論文提出者1名であった。

式典は多数の来賓のご臨席とご父兄及び教職員参列のもと厳粛に進行され、理事会を代表して影山英之理事長より祝辞と学長より告示があり、引き続き卒業生一同の代表として歯学部歯学科から答辞が述べられた。

さらに、成績優秀者賞授与が行われた後、卒業生、大学院修了者及び博士論文提出者の一人ひとりが壇上で卒業証書並びに学位記を授与され、閉式となった。

式場を後にした卒業生は多数の在学生に迎えられ祝福を受けていた。

なお、晴川賞は歯学部歯学科の山本康博君、優等賞は歯学部歯学科の山崎崇秀君、蜂谷恵理さんの2名である。

◆晴川賞 歯学部歯学科 山本 康博

◆優等賞 歯学部歯学科 山崎 崇秀  
蜂谷 恵理

## 祝 辞

理事長 影山英之

卒業証書並びに学位記を手になさる皆さんと、御臨席なされましたご父母各位に心よりお祝いを申し上げます。本日はまことにおめでとうございます。

皆さんにとりまして今日までの長い間には、多くのことを経験なされたことと思います。

限られた時間では到底語り尽くせぬ程の数多の経験は「思い出」という一括りの言葉にとどまることはなく、必ずや皆さんの人生に豊かな実りをもたらす良質な肥料となってくれることを信じております。

とりわけ最後の学生生活である本学で皆さんが「物事の本質を捉える大切さ」を学んで行ってくれば、私共にとってこれ以上の喜びはありません。

何事も一朝一夕に出来ることばかりではありませんが、困難が全てでもありません。今、自分の前になすべきことがあればできぬ心配をするよりは、できたときの喜びを心に描いてやってみることで。

失敗は成功の母、何度でも立ち直る努力を厭わなければ挫けることは恥にはなりません。今日の仕事を明日に延ばさず、今日の仕事としてやり遂げることで。

一日一日実行し、繰り返し積み重ね続けていく先に、新たな可能性が生まれ目標は達成されます。

これから後、皆さんが常に良識と善意を備え、社会から望まれる立派な歯科医師又は立派な薬剤師となって、地域医療に貢献なされ世界平和に寄与してくれることを希っております。

結びに 本日御臨席されました皆様様の御健勝を祈念して祝辞といたします。

## 告 辞

学長 天野義和

本日ここに、晴川学舎理事長影山英之先生を初めとするご来賓の方々のご父兄の方々をお迎えし、卒業式が執り行われますことを大学関係者一同は喜びに堪えません。

卒業生の皆さん、本日は卒業おめでとうご

ざいます。また、ご父兄の皆様、ご子女のご卒業おめでとうございます。

歯学部あるいは薬学部で学んで来た学生生活は長く感じたかも知れませんが、過ぎてみれば「光陰矢の如し」というような感じがしてくると思います。この奥羽大学で過ごした学生時代の期間と卒業するにあたっては、勿論、本人の努力があつて今日に至った訳ですが、忘れてはならないのは親御さんからの絶大なる支援と周囲の友達の助けも有つたことでしょう。自分ひとりですべて卒業できた訳では有りません。卒業生の皆さんは歯科医師あるいは薬剤師として社会に巣立って行くこととなりますが実社会においても自分ひとりの力だけではなく周囲の人と共に協力して行くこととなります。

社会に出れば、学生時代とは異なり、多くの人と接触することになりますが、それらの人と摩擦が生じるのを防ぐため、即ち、周囲の人と波風が立たないようにするために色々規制する規則・法律があり、これを守らなくてはなりません。幸いにして建学の精神「人間性豊かな医療人の育成」が皆さんの心身の中に育まれていて社会の中に自然に溶け込んで行くものと確信しています。

世情がめまぐるしく変動・進展して行く中で高齢化の社会が進み、高齢化社会における国民の健康維持が益々重要になってきます。歯科医師も薬剤師も国民の健康維持・向上をさせるにはなくてはならない職業です。教育機関や研究所あるいは大きな病院・個人開業のいずれの場所に勤務しても最初に勤務した場所での1年目の生活習慣・態度でその人の一生の生活スタイルが決まると言われています。臨床実習・実務実習で今まで学んできた高度な専門知識と技術を基に、積極的に歯科医師あるいは薬剤師として国民の健康維持・健康増進に貢献をし、患者さんに対しては安心され、信頼される歯科医師・薬剤師となって活躍してください。

卒業記念として植樹して頂きました「櫻」の木は、巨木となり高さは30メートルを超えることもあるといわれています。葉っぱの状態を見ると歯学部の歯と云う字のつく鋸歯状を呈しています。春には目を和ませる緑、秋には個体によって黄や赤に美しく紅葉に変化します。木

は堅くて磨耗に強く、木目は磨くと美しい光沢を放ちます。理事長先生が「心みがかれて文化となる」という言葉を用いられることがあります。この言葉のように、此の「樺」の木目の輝きのように、更なる専門知識と技術に研鑽を重ね輝きを放ってください。木の葉が個体によって変化するように、各自の能力を生かし、各自の特徴を教育機関、研究機関、病院、開業などの場所で、樺の木の枝が箒状に広がる様のように奥羽大学の卒業生の誇らしい意気を示してください。

最後に皆様のご健康とご活躍をお祈りし、告辞とします。

## 答 辞

卒業生代表 山本 康 博

桜が花を咲かそうと蕾を膨らませ、温かい柔らかな光が街を照らし始める頃、私たちは新しい一步を踏み出します。

本日は、私たちのために、このように盛大な卒業式を催していただき、卒業生一同感激を新たにしております。ここに僭越ではございますが卒業生を代表して一言お礼申し上げます。

学長先生をはじめ、ご来賓の先生方、関係各位の皆様のご臨席ならびに、激励のお言葉を賜り、誠にありがとうございます。

私たちは今日をもちまして、長かった学生生活に終止符を打つことになりました。思い返すと、桜の舞う四月、私たちは期待と不安を胸に本学に入学いたしました。当初は慣れない土地での大学生活に戸惑ったこともありましたが、在学中は同じ目標を持つ友人に恵まれ、先生方とも心を開いて話せるようになりました。先生方は勉強や私生活で困難に直面したときも心の支えとなってくださいました。また、私たちをいつも温かく見守り続けてくれた家族にも心から感謝しています。多くの方々のお力添えのおかげで私たちは無事卒業を迎えることができました。

現在の医療界は大変厳しい状況に置かれています。奥羽大学で学び培った多くの知識や経験、技術を礎にして、今日まで支えて下さった多くの皆様や日本の未来のために、努力を惜しむことなくその発展に貢献していきたいと思えます。

私たちはこれからそれぞれの道へと進みます。初心を忘れることなく確かな知識や技術はもちろん、人への思いやりや慈しむ心を持ち、人間性豊かな歯科医師、薬剤師を目指し一層の努力を重ねる所存であります。己の道を信じ、日々精進して参ります。

本日までご指導くださいました諸先生方や大学関係者の皆様に、心より御礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導、ご鞭撻賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、諸先生方やご来賓の皆様のご健勝と、奥羽大学のますますのご発展を、心より祈念いたしまして、答辞とさせていただきます。

---

## 博士(歯学)学位記授与

---

### 博士課程修了

加川 千鶴世 (小児歯科学)

「マウスの舌および軟口蓋における味覚受容器の発生過程  
—受容器の発生時期と味覚機能発現について—」

南條 章太郎 (顎顔面口腔矯正学)

「Twin block appliance 治療における顎顔面部の軟組織弾力性」

和田 裕一 (口腔機能回復学)

「唾液中 Histatin5のキニーネ受容に対する効果」

小倉 章暢 (保存修復学)

「移植骨の熱処理が骨移植後の治療過程におよぼす影響」

金子 友紀 (保存修復学)

「炭酸ガスレーザーがラット脛骨チタンインプラントのオッセオインテグレーションに及ぼす影響」

### 論文審査

加藤 謙一 (生体材料学)

「金銀パラジウム合金製クラスプの口腔内における変色と金属組織との関連」



## 記念植樹

3月8日(火)午後1時より「躍進の像」前で平成22年度卒業生による記念植樹が行われた。

学生代表の松本直人君から「この木とともに成長し、大学で学んだことに誇りと自信を持ち地域医療と社会貢献に尽くしていきたい」と挨拶があった。学長より謝辞として、「このケヤキの木のように枝を広げ生長するように、皆さんも成長していくことを希望します」とのお言葉をいただいた。

最後に参加した卒業生代表、教職員全員の手によって植樹されたケヤキに土入れが行われた。



## 謝 恩 会

3月10日(木)歯学部は、ホテルハマツにて卒業準備委員会主催の謝恩会を開催した。会では天野学長、大野歯学部長、田口父兄会長より卒業生に激励の言葉があり、卒業生それぞれが父兄や教職員へ感謝の言葉や思い出が語られていた。



歯学部

## 歯科医師国家試験合格者発表

平成22年度第104回歯科医師国家試験は2月5日(土)・6日(日)の両日仙台で行われた。合格発表は3月22日(火)にあり、本学歯学部の受験者総数は

150名(新卒77名)で、合格者は94名(新卒61名)であった。なお、新卒者の合格率は17私立大学中7位であった。

## 薬剤師国家試験合格者発表

平成23年度第96回薬剤師国家試験は3月5日(土)、6日(日)の両日に行われた。合格発表は3月30日(休)にあり、本学薬学部受験者総数は57名、合格者は40名であった。なお、合格率は全国公私立大学を含め全国第1位であった。

## 平成22年度病院・薬局実務実習

本年度、薬学部にとって初となる病院・薬局実務実習が実施された。本実習は、5年次に配当され、1年を3期(2.5ヶ月/期)に分け、そのうちの2期分を病院と薬局で実習するものである。現在、5年次140名中Ⅲ期74人が故郷の病院あるいは薬局で頑張っている。将来の薬剤師を目指す学生には、基礎的な知識・技術はもとより、豊かな人間性、高い倫理観、医療人としての教養、課題発見能力・問題解決能力、現場で通用する実践力などを身につけることが求められている。そのため、実学としての医療薬学を十分に学ぶ必要があるのだが、このことは本学の



奥羽大学歯学部附属病院での服薬指導風景



奥羽大学歯学部附属病院での実務実習風景

理念「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」にも合致している。

本年度、全期間を振り返ってみて感じることは、その成果の大きかったことである。学生は実務実習に満足し大きく成長した。一方、実習期間中には、実習生が体調を崩すなどの問題も起こったが、薬学部教員が協力して解決を図り、実習の充実を目指した。今後の奥羽大生の活躍に熱いエールをお願いしたい。

### 薬学教育フォーラム2011 学生発表

2月12日(土)に慶應義塾大学薬学部(東京・芝キャンパス)で薬学教育協議会フォーラム2011が開催された。全国66大学67学部から実務実習を終えた学生90名および実務実習担当教員が出席した。本学からは、5年生の菅野小雪さんが出席し、本学薬学部でのポスター発表で平成22年度病院・薬局実務実習の取り組みについて教員と共に示説を担当した。



薬学部5年生の菅野小雪さん

### 人事担当者懇談会

昨年12月6日(月)・7日(火)の2日間、薬学部5年生を対象とした就職セミナー「採用担当者との懇談



会」を本学メモリーで開催した。参加した病院・調剤薬局・ドラッグストアなどは合わせて100社(180名)、学生を含めて延べ320名が参加するセミナーとなった。

参加した5年生全員がリクルートスーツに身を包み、事前に担当者より懇談会の説明を受けた後、卒業生から就職後の活動についての話を聞いた。懇談が始まると会場は活気に溢れ、皆真剣なまなざしで採用担当者の話を聴いていた。

### 平成22年度職域歯科保健トップセミナー

2月17日(木)、郡山市のビックパレット福島において、福島県、福島県歯科医師会の主催で、企業や事業所の所長、安全衛生管理者等を対象に、従業員の健康づくりを進める上での歯科保健の重要性について周知するためのセミナーが開催され、歯学部口腔衛生学講座の廣瀬公治教授が「働き盛りの健康を支えるために ～口からのアプローチ～」と題し講演を行った。

その中で、成人期における歯の健康作りの重要性を理解するため、歯周病と全身疾患との関連、特にメタボリックシンドロームとの関連を例示し、これについて詳細な解説が行われた。講演は専門的内容を多く含むものであったが、受講された方の多くは産業保健の第一線で活躍されている方ばかりであり充分な理解が得られた様子であった。

成人期は継続して歯科保健に接する機会が激減する。よって、職域において歯科保健の重要性を理解しているトップの方々を増やすことが福島県の成人、特に働き盛りの健康を支える大きな力になる。今回のセミナーの受講者からは、この講演の内容を職場に広めたいとの声も聞かれ、それぞれに、職域における歯科保健の重要性を理解する契機となったようである。



## 平成22年度大学院特別セミナー

本年度の大学院特別セミナーは、下表のように計5回開催された。いずれのセミナーにおいても多数の大学院生が熱心に聴講していたのは勿論だが、薬学部教員も出席して活発な質疑応答を交わすなど、非常に有意義な時間となった。

講師名	所属・職名	演題	実施日
A.Deregibus	トリノ大学教授	Do the Functional Appliances work ?	7月2日
山本照子	東北大学大学院教授	矯正歯科治療と痛み	8月23日
大山秀樹	兵庫医科大学准教授	全身病理における歯周病医学の位置づけ	10月6日
三浦宏之	東京医科歯科大学教授	機能的な咬合面形態を回復するために	11月10日
大西芳秋	産業技術総合研究所主任研究員	生物時計遺伝子と環境「サーカディアン・リズム」	2月3日

## 国際学会参加報告

## 薬学部

開催期日	発表演題	国際学会名	開催地	本学参加発表者
12/9～ 12/12	イミプラミンによる1-メチル-4-フェニルピリジニウムイオン(MPP <sup>+</sup> )由来のラジカル増強作用	第7回国際アルツハイマー病における精神機能障害会議	スペイン	小畑俊男

## 第2回教員研修講演会

昨年12月6日(日)に本学において、ノーベル生理学医学賞選考委員会があることでも世界的に有名な、スウェーデン王立カロリンスカ研究所のがんセンター腫瘍病理部門教授アーネ・オストマン氏を招き「腫瘍間質を標的とした新しいがん治療に向けて」と題した講演会を開催した。

従来のがん治療薬はがん細胞そのものを標的としていたが、オストマン教授はがん細胞の成育を助ける間質の線維芽細胞を標的とした薬を探しており、これまでの研究成果を発表した。



特別講演を行うアーネ・オストマン氏

## 高大連携講座

「庭にある植物が、癌の薬って知っていますか?」

藤井 祐一

1月13日(木)、日大東北高校3年生50名の生徒に植物が生活に重要な意味を持つことを、生物多様性の観点および植物が医薬品開発の宝庫であることを中心に講義した。生物多様性の観点では、身近な桃、杏がなぜ未成熟な時期に青酸配糖体が多いのか、徳川家家紋の元となった寒葵(馬鈴草)は発癌性物質を含むが、これを餌とするジャコウアゲハ蝶もあり、また人は漢方薬の原料としていることを説明した。

一方、薬の宝庫として、瓜楊枝は、ヤナギがよい。それはアスピリン開発のもとになったサリシンが含まれているからである。また、神主さんの笏を作るイチイ(アララギ)や庭にあるニチニチソウからは、制癌剤が作られ、イチヨウの葉は、西洋では認知症の薬になっているなど、植物の多様性を知り、そこから新薬が出来る可能性について講義した。

### 小児歯科学会

平成22年度一般社団法人日本小児歯科学会秋季大会は、成長発育歯学講座小児歯科学分野が担当(大会長 鈴木康生教授)し、12月2日(木)、3日(金)の2日間、郡山市民文化センターで開催された。本学の横瀬敏志教授による特別講演や臨床講演、さらに一般演題の発表が行われ、いずれも活発な質疑応答が交わされた。また、第28回日本小児歯科学会北日本地方会大会も併催された。



### 附属病院

#### 平成22年度第5、6回医療安全研修会

2月3日(木)と2月24日(木)の17:40～18:40に医療安全研修会が行われた。2月3日は、本学の心理学の講師でもある鈴木敏城先生より、「クレマーに巻き込まれないために」と題したご講演を頂いた。鈴木先生はスライドを使うことなく、流れるような話と、身振り手振り、時々の板書でご講演頂いたが、1時間が非常に短く感じるほど人間関係の核心を突いた有意義な講演内容であった。

2月24日は「医薬品の安全使用～リスクマネージメントを進めよう“消毒”キッチンとしますか?～」と題して本院の薬局長の倉本敬二准教授および、「医療機器の安全使用～医療機関における安全管理～」と題して、株式会社



ヨシダ安全対策機器部課長の駒井孝之様よりご講演を頂いた。

倉本先生からは、点滴回路の三方活栓の安全使用についてのトレンドを、駒井様からは、医療機器の保守点検、特に歯科用ユニットについて詳細にご講演を頂いた。いずれも焦点を絞り、非常にわかりやすい内容であった。



#### 歯学部附属病院全面禁煙実施施設として認証

健康増進法の施行により平成19年7月から受動喫煙防止対策を講じ、医療機関として患者さんとその家族、来院者、学生、教職員等、附属病院に入出する全ての人の健康を守る事を第一に考え、平成20年10月から「敷地内全面禁煙」を実施している。この度「敷地内全面禁煙実施施設」として認証された。

認証番号 第179号  
第5号様式  
郡山のおもいやりノースモーキング専業



### 全面禁煙・空間分煙実施施設



### 奥羽大学歯学部附属病院 様

施設名

貴施設を「全面禁煙・空間分煙」実施施設として認めます。

上記施設は、次の項目を実施しています。



- ◎敷地内全面禁煙としています。
- 施設内全面禁煙としています。
- 喫煙室を設置し、標示しています。

おもいやりノースモーキング専業  
キャラクター「ノースモーくん」

平成23年 2月 2日  
郡山市保健所長 阿部孝一





父 兄 会

歯学部・薬学部父兄会の幹事会、総会は3月10日(木)に開催され、平成23年度の役員ならびに事業計画・予算について承認された。

主な内容については下記のとおりである。

歯学部

「平成23年度役員」

歯学部父兄会

会 長 神山 功  
副会長 江良 謙次  
監査役 中島 義真

「主な行事予定」

定時総会 平成23年 5月14日(土)  
平成24年 3月10日(土)  
保護者懇談会 平成23年 5月14日(土)  
平成23年10月 8日(土)  
地域会(全体会・個別懇談会・懇親会)

23年6月12日(日)	東京	東京グリーンパレス
23年6月19日(日)	大阪	大阪ガーデンパレス
23年6月26日(日)	福岡	福岡ガーデンパレス

「予 算」

(収入の部) 単位:円

科 目	本年度予算額
前年度繰越金	5,539,000
入 会 金	500,000
会 費	12,500,000
地域会参加費	500,000
雑 収 入	5,000
合 計	19,044,000

(支出の部) 単位:円

科 目	本年度予算額
通 信 費	500,000
印 刷 費	300,000
会 議 費	1,400,000
消 耗 品 費	10,000
旅 費 交 通 費	1,500,000
慶 弔 費	150,000
雑 費	10,000
地域会開催費	3,990,000
課外活動援助費	5,010,000
学生福利厚生費	1,600,000
奥羽大学歯学会協賛費	100,000
学 習 活 動 助 成 費	2,000,000
予 備 費	2,474,000
合 計	19,044,000

薬学部

「平成23年度役員」

薬学部父兄会

会 長 小林 啓一  
副会長 安藤 尚廣  
監査役 歌川 光子

「主な行事予定」

定時総会 平成23年 5月20日(金)  
平成24年 3月10日(土)  
保護者懇談会 平成23年 5月20日(金)  
平成23年10月 8日(土)

「予 算」

(収入の部) 単位:円

科 目	本年度予算額
前年度繰越金	22,728,605
入 会 金	1,100,000
会 費	12,200,000
雑 収 入	20,000
合 計	36,048,605

(支出の部) 単位:円

項 目	本年度予算額
通 信 費	200,000
印 刷 費	100,000
会 議 費	1,000,000
消 耗 品 費	50,000
旅 費 交 通 費	600,000
雑 費	150,000
課外活動援助費	2,300,000
学生福利厚生費	11,150,000
予 備 費	20,498,605
合 計	36,048,605

## 退職によせて



歯学部

鈴木 康生

平成6年2月に小児歯科学講座(現、成長発育歯学講座、小児歯科学分野)の教授として赴任して以来17年。この1月に定年退職致しました。大学としてはこの間、文学部から薬学部創設、大学評価、歯学部共用試験の取組みと機構への加盟等々、激動の時期であったように思います。

こうした中で学生教育に創意工夫をこらして学生と共に楽しく講義・実習ができたことは生涯の思い出です。また、平成16年度から研究科長を務めさせて頂いた大学院も徐々に活性化してきました。奥羽大学のこれからの益々の発展を祈念致します。



薬学部

岩間 正典

薬学部開設に際してお誘いいただき、2年目に着任してから5年間、お世話になりました。4年制課程の最初の国家試験受験のときは、学生部長として少しでも多くの合格者を出すことが使命でしたが、芳しい結果を出せなかったこと、申しわけなく思っています。

今年には4年制課程の最後の学生が卒業しましたし、6年制課程も最終学年を迎えます。いろいろ考えて潮時と思い退職をさせていただくことにしました。任期途中での退職ですが、奥羽大学は私にとって多くの、そして多様な経験をさせていただいたところであり、深く感謝しています。これからますます忙しくなるとは思いますが、皆様お元気で活躍ください。



薬学部

曾根 孝範

前職で、初代総括製造販売責任者を担当したため、薬学部発足2年目から勤めさせていただきました。30年ぶりの有機化学の世界に、初めて教員として飛び込んできました。四年制の最初で最後の学生と接しながら、六年制でのCBT、OSCEなど初めての体験をさせていただきました。

また、自己点検・自己評価委員長を拝命し、大

学内の報告書を作成するとともに、薬学評価機構による自己評価21を立ち上げ、ホームページ掲載させていただいたことは、大きな経験となりました。

来年は、六年制1期生が卒業し、国家試験に挑戦する年です。教員、学生が一丸となって最高の成果がでることを望んでいます。5年間若い学生を相手にお手伝いできたことを大変喜んでおり、奥羽大学のますますの発展を祈っております。

## 東京支部同窓会だより

同窓の先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

18期の町田宗子です。奥羽大学を卒業して16年が過ぎましたが、昨年より、縁あって同窓会東京支部の理事を務めさせて頂くことになりました。

当支部は全会員約320人で、執行部役員20名で運営しております。支部の22年度の活動としましては、年10回の理事会、2月に総会と学術講演会、7月に納涼会、12月に忘年会、6月と9月、1月に学術懇談会を行いました。納涼会、忘年会につきましては、参加者の大部分が役員とその家族というのが現状のため、一般会員の参加を増やすことが課題となっていました。この問題を打破するべく、学術懇談会を開催するに至りました。あえて「懇談会」としたのは、講演を聴くだけでなく、歯科診療の疑問点等について気軽に質問し、話し合おうという主旨があります。第1回から第3回までは、東京支部理事で15期生の加来良成先生が、「明日から使える臨床」ということで、審美、ホワイトニング、インプラントについて講演してくださいました。学術懇談会は盛況で、役員以外の若い先生方も多く参加してくださいました。すぐに使える臨床のテクニックを得るだけでなく、症例を用いた質疑応答もあり、大変意義のある会となりました。今後も、活発な支部の活動を目指して努力していきたいと思っております。

東京在住同窓生の把握はとても困難なため、これから東京で開業される先生や、すでにご開業されている先生方で、東京支部よりお知らせの案内が届いていない方は、是非お気軽に下記までお問い合わせください。

同窓会東京支部からの案内をお届けするために、御希望の連絡先記入書を送らせていただきます。

東京支部同窓会へのお問い合わせ先

代表者氏名 支部長 渡辺明夫

連絡先 TEL 03(5374)5540

FAX 03(5374)5540

## 同窓生のひろば

青木 秀志(北海道同窓会長)

この度の東日本大震災で被害にあわれた会員・ご家族・ご親戚の方に衷心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。長い冬の峠がようやく越えられると思っていた矢先、未曾有の甚大な地震による災害が東北地方を直撃し、北海道や関東まで無残に蹂躪していきました。東北地区に大学をもつ本学および東北大学歯学部、岩手医科大学歯学部の3校の同窓会より北海道歯科医師会へ緊急の支援要望書を提出いたしました。我々も何とかお役に立てることはないかと模索しているところです。

「北海道のサムライ頑張る同窓生」

柳瀬 直樹(歯学部 5期生)

昨年の夏は北海道でも真夏日が2週間ほど続いた。記録的な猛暑も“喉もと過ぎれば熱さを忘れる”。その通りだが、年明けからここ数日、大雪に見舞われた。全国的にも今年は大雪のようだ。北海道に住んでいると山陰地方にスキー場があるとは信じたいが、雪崩による事故が起きて残念なことに死傷者が出た。

現在の札幌の状況は積雪何cmという表現より、道路わきに「横手焼きそば」で一躍有名になった秋田県横手市の「かまくら」が連なっているといった方がリアルかもしれない。大人の背丈をはるかに超える雪山の陰から車を幹線道路に出すには、ちょっとした勇氣がある。何せ左右が全く見えないからそっと鼻先を出す。心得たドライバーなら減速しながら気をつけてくれるが、雪道に不慣れなドライバーや傍若無人の者がいないとも限らない。雪に埋まって動けなくなった車や滑ってぶつかってしまった車で渋滞は酷くなる一方だ。

北海道の景気動向が一向に回復の兆しの見えない中、除排雪が行き届かずもなく、ライフラインともいえる道路が悲惨な状況下にある。バブルの頃、勾配のある道には隈なくロードヒーティングが設置され、今から思えば悠々自適だった。それがいつの間にか撤去され、ほんの一部しか残っていない。一時期の十分の一程度である。夕張市だけではなく北海道経済の疲弊はこんな所をも直撃している。

歯科診療報酬では11月～4月まで療養担当手当が算定できる。初診月、再診月に1回12点の算定ができることになっている。歯科保険書物を調べ

ても大して詳しくは載っていない。確かに暖房に費やす灯油代はこの時期バカにならない。ましてや雪が降る度にロードヒーティングに頼るとその額に音を上げてしまう。ささやかな応援なのか。本州に冷房手当はないのだから北海道だけありがたいと思わなくてははいけない。

さて、北海道歯科医師会も3月初めに会長選挙がある。平成18年に代議員による間接選挙から会員による直接選挙に大きく様変わりした。現職が政策を踏襲することで二期目は無風だった。

だが、三期目となる今回はそうはいかないようだ。勿論、会長選挙は道歯会にとって重大なことである。直接、会員に影響することもあり、慎重極まりない対応が迫られる。

前代未聞の現会長と前副会長(昨年11月に辞任)の一騎打ちになる。対抗馬よりマニフェストを思わせる「政策パンフレット」が早々と送られ、まるで政局争いのようだ。

地元月刊誌には「官民学閥対決」といった記事が載るほど白熱したものがある。

その政策パンフレットにマニフェストを思わせる文言もあり、いずれにしても有言実行できるのだろうか。ネガティブキャンペーンは誰にでもできる。実現する根拠とその実力の有無にかかってくる。ただ、一開業医が北海道の会長職を競い合う。開業医が医院経営の傍ら会務を執行することは、厳しい経営環境におかれた現状からすれば非常に難しい。それが組織の代表であれば尚更のことである。最低限、自らの経営基盤が磐石でなければならない。

北海道歯科医師会の役員の中には我が同窓生がいる。私利私欲に捉われず、ひたすら歯科界あるいは同窓のために頑張るサムライたちが。それを必死に後押しする同窓生もいる。任期満了になっても会長から次期も、と懇願される者もいる。彼なしではやっていけないとまで言わしめた。北海道のサムライたちは粘り強く生き、そして活躍している。いずれにしても春には国政とは違いたい決着をみたいと願う。卒業して四半世紀以上経つと“井の中の蛙”から少しは世間を見られるようになり、日々歯科界と国益を損なわないように目を光らせていきたい。

なお、選挙結果は、当同窓会が支援した富野晃氏が3選を果たした。

また、冒頭の青木会長のことばを念頭に授け合い頑張って生きていこう。

二階堂 淳美 (薬学部 1期生)

卒業生の皆様、お久しぶりです。奥羽大学薬学部1期生の二階堂淳美です。平成22年度の卒業生をもちまして、薬学部旧4年制の課程が終了いたしました。私も、同窓生代表として卒業式に出席させていただきました。様々なことがありましたが、理事長先生をはじめ多くの皆様のおかげで、233名の同窓生が学び舎を巣立つことができました。改めまして、皆様に御礼申し上げます。

喜びもつかの間。卒業式の翌日、日本中を激震させる大事件が起ってしまいました。3月11日午後2時46分、三陸沖で国内観測史上最大のM9を記録した大地震は、一瞬にして多くのものを破壊し、さらにはその津波の影響により多くの尊い命や大切なものを奪っていきました。被災地の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

私自身は、茨城にあります会社であのひどい揺れを経験しました。長い揺れの中で停電が起き、塀

や屋根瓦が崩れおち、街中が一瞬のうちに恐怖に染まる姿は、今思い出しても身の毛がよだちます。このような大変な中、私の安否を気遣い、ご連絡をくださった皆様本当にありがとうございます。

今、日本全国が復興に向け一心に進んでいます。多くの障害により思うように進まぬ現状ではありますが、今この時こそ、みんなの力や心を一つにして、頑張りましょう。

「ALL FOR ONE, ONE FOR ALL」  
亡くなった多くの命のご冥福を祈り、これから生きていく人々の未来を信じて…

薬学部同窓会では、会員とそご家族、また恩師の先生方、関係者皆様の安否情報、連絡先等の情報を求めています。些細なことでも構いませんので、ご連絡お待ちしております。

【奥羽大学薬学部同窓会:ohu\_ph\_dousouaki@yahoo.co.jp】  
北日本の皆様の復旧と、穏やかな生活が1日も早く訪れますように。

人 事

〈昇格〉	旧	新	
黒田よし子	図書館事務部 事務職員	図書館事務部 図書係長	12月1日付
武田光市	総務部 守衛主任	総務部 守衛係長	1月7日付
〈採用〉			
田巻勝幸	参事(守衛)	総務部	12月13日付
〈退職〉			
水木望	医療職員	看護部	1月31日付
廣井邦雄	教授	薬学部	3月31日付
新田敏正	教授	大学院	3月31日付
小林康二	講師	歯科補綴学	3月31日付
小澤洋子	講師	口腔外科学	3月31日付
洪澤佑真	助教	歯科補綴学	3月31日付
坂井浩秀	助教	歯科補綴学	3月31日付
渡邊正人	助教	口腔外科学	3月31日付
園田由季	助教	口腔外科学	3月31日付
林下照	助教	口腔外科学	3月31日付
宮藤寛	助教	口腔外科学	3月31日付
伊藤明	助教	口腔外科学	3月31日付
杉山明	助教	口腔外科学	3月31日付
安達仁	講師	臨 床	3月31日付
田辺理彦	講師	臨 床	3月31日付
山口英久	講師	臨 床	3月31日付
大野敦司	講師	臨 床	3月31日付
中島大誠	講師	臨 床	3月31日付
高良孔明	講師	臨 床	3月31日付
板倉慧典	助教	臨 床	3月31日付
土田雄助	助教	臨 床	3月31日付
金井英納	助教	臨 床	3月31日付
梅里朋史	助教	臨 床	3月31日付
平山圭大	助教	臨 床	3月31日付
井上雅貴	助教	臨 床	3月31日付

新田康博	助 手	臨 床	3月31日付
中山奈美	助 手	臨 床	3月31日付
大脇敏弘	助 手	臨 床	3月31日付
中島聖子	助 手	臨 床	3月31日付
豊原大業	助 手	臨 床	3月31日付
佐々木健聡	助 手	臨 床	3月31日付
富田修	助 手	臨 床	3月31日付
中池祥浩	助 手	臨 床	3月31日付
渡辺有希	助 手	臨 床	3月31日付
田中克典	助 手	臨 床	3月31日付
篠田奈々	助 手	臨 床	3月31日付
北野善太	助 手	臨 床	3月31日付
大野彩紗	助 手	臨 床	3月31日付
曾根孝範	教授	薬学	3月31日付
岩間正典	教授	薬学	3月31日付
渡邊由香	助 手	薬学	3月31日付
深谷朋美	助 手	薬学	3月31日付
小林麻衣子	医療職員	看護	3月31日付
鈴木彩	医療職員	看護	3月31日付

〈定年〉

田巻勝幸	守衛係長	総務部	12月12日付
鈴木康生	教育職員	歯学部	1月28日付

奥羽大学報129号(通算No.254)平成23年3月31日発行

発行 奥羽大学  
学報編集委員会  
委員長 天野義和

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1  
電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372  
ホームページアドレス http://www.ohu-u.ac.jp  
メールアドレス info@ohu-u.ac.jp